

第2学年	数学 科	使用教材	教科書（「新しい数学2」東京書籍） 問題集（「基礎からの問題集」東京書籍）
------	------	------	--

<学習の目標>

- ・文字を用いた式、連立2元1次方程式、1次関数、平行線の性質、三角形の角についての性質、三角形の合同条件、三角形と四角形の性質、確率などについての基礎的な概念や原理・法則を理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、表現・処理をしたりする技能を身に付けるようにする。
- ・数の性質や計算について考え文字を用いて数量の関係や法則を考える力、図形の性質や計量について論理的に考え表現する力、関数関係の特徴を表・式・グラフに関連付けて考える力を養う。
- ・数学のよさを実感し、生活に活かそうとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

授業のポイント	・積極的に発表し、先生や友だちの話をよく聞く。 ・自分の考えや解き方を友だちと交流する。 ・わからないときは先生に質問する。
家庭学習について	・習った問題をその日のうちに問題集で練習する。 ・復習に重点をおき、できるだけ毎日学習する。 ・問題集や練習プリントを使って、計算問題は繰り返し練習する。
テストについて	・定期テスト、実力テスト、小テスト

評価の観点	判断基準について
数学に関心を持ち、意欲的に取り組むことができる。	授業中の様子・提出物
数量・図形などの関係を的確にとらえ、論理的に考察できる。	定期テスト・小テスト
数量・図形などを数学的に表現し処理する技能を身につけている。	定期テスト・小テスト
基礎的な概念・原理・法則を理解し、用語・記号などを使用できる。	定期テスト・小テスト

<1学期>

月	学習内容	付けさせたい力	課題
4	第1章 式の計算 1) 式の計算	・単項式、多項式、項の意味を理解し、多項式の項や式の次数をいうことができる。 ・同類項の意味を理解し、同類項をまとめる計算や、多項式の加法、減法の計算ができる。 ・単項式どうしの乗法や除法の計算ができる。 ・2つ以上の文字をふくむ式で、式の値を求めることができる。	教科書 プリント 問題集
5	2) 文字式の利用	・整数の性質や図形に関する問題を、文字式を利用して説明することができる。 ・必要に応じて等式を変形することができる。	
6	第2章 連立方程式 1) 連立方程式とその解き方	・2元1次方程式の意味を理解している。 ・連立方程式とその解の意味を理解している。 ・加減法や代入法を用いて連立方程式を解くことができる。 ・括弧を含む連立方程式や、分数・小数係数の連立方程式を解くことができる。	
7	2) 連立方程式の利用	・数量の間の関係を連立方程式で表すことができる。 ・連立方程式の文章題を解くときの手順を理解し、連立方程式を利用して身近な問題を解くことができる。	

・途中式をしっかりと書き、思考の過程を表現する。 ・既習事項を使って説明する機会を多くもうけ、意見を交流し思考力を深める。 ・振り返りシートを活用し、主体的に学ぶ力を身につける。
